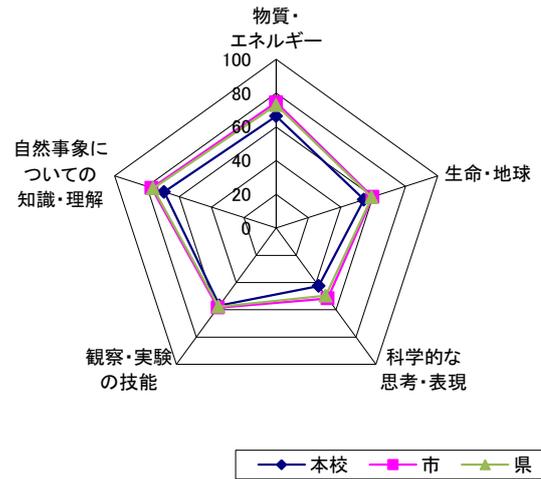


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	66.3	74.5	72.9
	生命・地球	54.4	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	42.6	51.6	49.7
	観察・実験の技能	56.8	58.4	57.7
	自然事象についての知識・理解	69.4	77.0	76.2



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均を下回っている。 ・物は形が変わっても重さが変わらないことについて、正答率は73%で、市の平均より18ポイント下回っている。 ・反射させた光の明るさの違いについての問題では、正答率が44%で、市の平均より32ポイント下回っている。 ・電気の通り道、磁石の性質の問題では、それも正答率が市の平均より10～20ポイント下回っている。 ・児童によって個人差があるが、学習内容が多くの児童に定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の目的や方法について、時間をとって指導し確実に理解できるようにするとともに、結果の見直しをもって実験や観察に取り組めるようにする。 ・実験や観察の結果から分かることなど、考察を自分の言葉でまとめる時間を設け、自然の規則性や現象について理解を深められるようにする。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・植物の体のつくりの特徴を答える問題では、正答率が65%で、市の平均を16ポイント下回っている。理解の個人差が大きい。 ・太陽と地面の様子を活用問題の正答率は5%と低く、市の平均よりも8ポイント下回っている。 ・活用問題においては、決まった言葉を用いて理由を説明することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫の飼育や植物の世話などを通して、学習内容を自分の身近な自然現象として理解できるようにする。 ・学習のキーワードを用いて文章でまとめる機会を増やし、理解を深められるようにする。